

## 新風びんご

三原テレビ放送アナウンサー

宮野泰杜さん(24)＝三原市皆実



ケーブルテレビ局の三原テレビ放送で唯一の社員アナウンサーとして、二ニュース番組のキャスターを務める。浜松市出身で、大学時代は広島市で過ごした。就職を機に三原市で暮らし始めて3年目。「市外出身者の目線でも三原の良さを発信したい」と力を込める。

名刺の肩書は「放送制作部兼アナウンサー」。金曜の二ニュース番組に出る以外は、取材記者の一人として市内を駆け回る。昨秋からは、自ら施設や団体を訪ねて体験リポートする月1回のコーナーも担当する。大和町の乗馬クラブを伝えると、視聴者から「三原にこんな場所があるとは知らなかった」などの反響があったという。「ボランティア

## 魅力発信へ取材にも汗

イア団体など、地元の人々の頑張りを伝えたい」と意気込む。高校時代は演劇部に所属。県立広島大に進み、日本語文化を学んだ。「言葉で人の心を動かす仕事がしたい」とアナウンサーを志し、各地の放送局の試験を受ける中で同社の求人を知り、2020年に入社した。

同社は18年の西日本豪雨を機に、独自に市内の河川にカメラを設置。水位状況などをリアルタイムで伝える事業にも取り組む。「もしもの時、素早かつ確かな情報を伝えられるように」と地元局の重要性を自覚する。

「知識も技術もまだまだ。発言に自信と責任を持ち、信頼されるアナウンサーになりたい。理想の姿を追い求め、学びの日々が続く。」(佐藤弘毅)

みやの・たいと 須波で海を眺めたり、家でお酒を飲んだりするのがリフレッシュ法。アナウンサーを自指す前は杜氏(こうじ)に憧れていた。3月に結婚し、妻と2人暮らし。